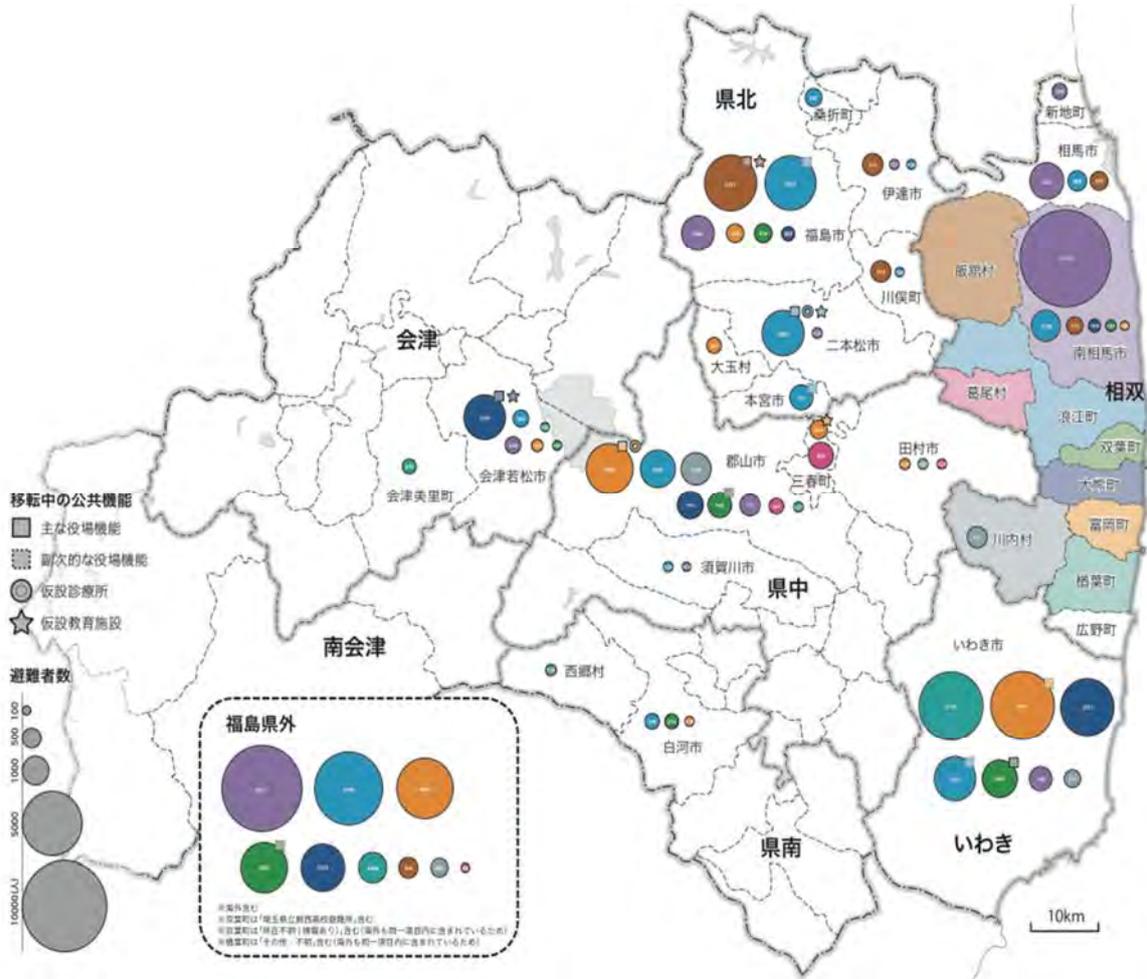
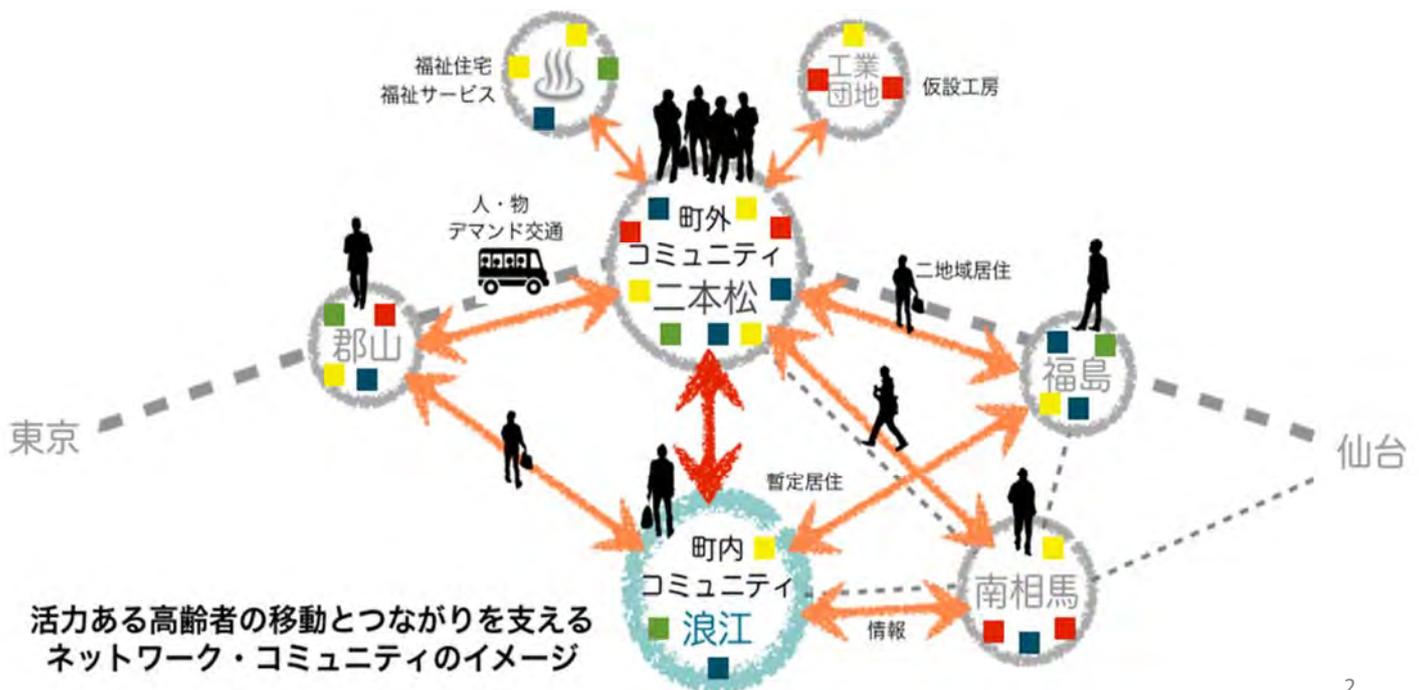


■ 広域分散避難の実態 (沿岸被災自治体全体・2013年12月)

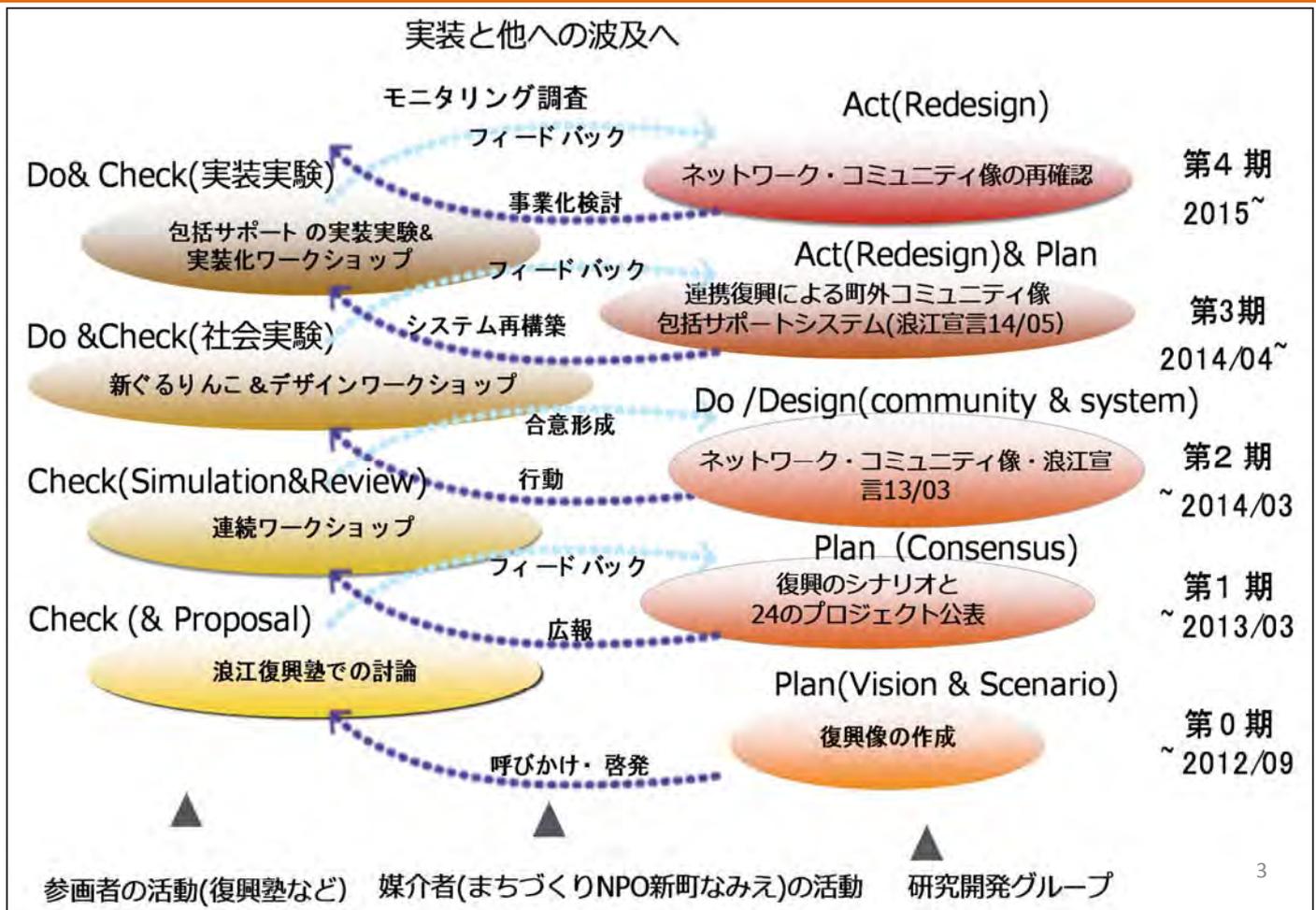


■ ネットワーク・コミュニティの概念(研究当初)

仮設住宅団地、復興公営住宅や自律再建住宅等を核に形成される「町外コミュニティ」と点在する公共施設等との有機的な連携により成り立つ状況を「ネットワーク・コミュニティ」として位置づけ、長期にわたる避難生活を支え、安定し充実した活力ある地域社会



■アクションリサーチとしてのPDCAサイクル



■第1期で形成されたネットワーク・コミュニティのイメージ

ネットワーク・コミュニティによる再編イメージ-根底となる考え方-

- 避難先に住宅や商店、福祉施設を集積させた町外コミュニティ (まちなか型、郊外型)
- 帰還の帰還拠点、前線基地としての町内コミュニティ
- これらを繋ぐ、移動、情報システムの整備





町外コミュニティの実現にむけ、二本松市民と浪江町民が合同で二本松市のまち歩き、ガリバーマップ作成を実施。

→このような活動を支える組織として「二本松浪江連携復興センター」が生まれた。



■ 移動支援システム「新ぐるりんこ」の社会実験



(浪江町商工会H.P.より<http://www.nsci.or.jp/index.html>)

生活サービス

なかよし号

買い物や通院といった日常生活における外出をサポートする。

帰還支援

みらい号

浪江町への一時帰宅といった浪江町民ならではの外出をサポートする。宿泊可能な段階では町内で、なかよし号のような生活サービスを行う。

イベント

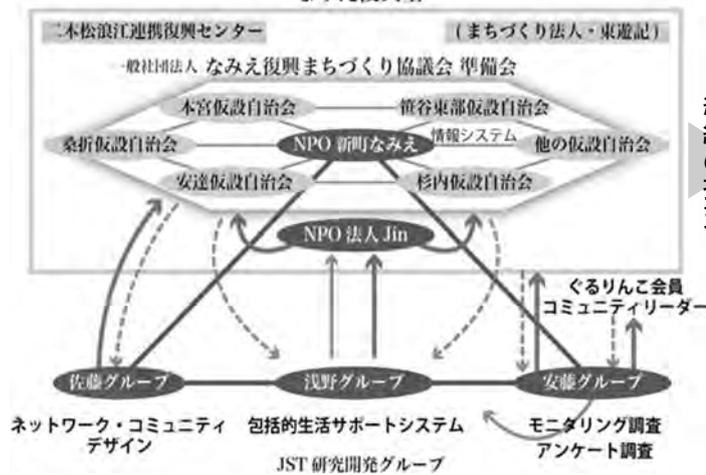
えんじょい号

温泉や旅館、劇場などの娯楽施設への移動をサポートする。移動自体も楽しめるように移動中にもお茶会やカラオケなどを開催し、外出の楽しさを提供する。

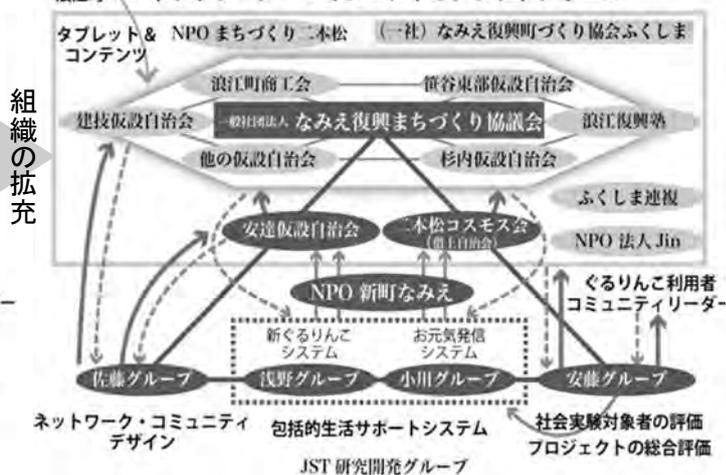
三つ合わせて「新ぐるりんこ」



なみえ復興塾



浪江町 ネットワーク・コミュニティのプラットフォーム



組織の拡充



■ネットワーク・コミュニティのモデル試行(DO)

町外コミュニティとネットワーク・コミュニティの実装検討 二本松~安達エリア

浪江文化継承の拠点



修正した町外コミュニティモデル (Check+Action)

福島県営復興公営住宅200戸と隣接地に
民間開発が連携し一体として整備される
「復興公営住宅一体型の町外コミュニティ」



① 低密度で自然豊かな市街環境を整備し、広場や菜園等の従前のライフスタイルを継承できる場の実現をめざした「自然豊かにのんびり暮らせるまち」

② 分散避難している町民がなるべく多く集まって、便利に安心して暮らせる場の実現を目指した「色々な施設が充実しているにぎわいのあるまち」

- アイデア1 復興公営住宅建設と周辺のまちづくりを一体として進める町外コミュニティの整備
- アイデア2 既存の生活サポートセンターを拡充して整備する生活サービス・福祉拠点
- アイデア3 復興公営住宅の隣接地を浪江町などが取得することによる福祉・業施設等の事業用地確保
- アイデア4 明確な二つの考え方に基づいた町外コミュニティの整備
- アイデア5 地域コミュニティの賑わいの拠点として整備する診療所
- アイデア6 豊かな緑地や公園を確保するための駐車場の配置の工夫
- アイデア7 復興公営住宅建設用地北側の斜面空地の多様な活用
- アイデア8 町外コミュニティの建物建設と併せた住民の移動交通サポートのしくみ整備
- アイデア9 浪江町民が復興公営住宅に優先入居できるしくみの整備

ワークショップで共有されたイメージとアイデア

第4期(2015年4月～):ネットワーク・コミュニティの実現へ向けた活動

3つの規模と特徴の異なる町外コミュニティモデルの検討

1 二本松市石倉安達地区

福島県営復興公営住宅200戸と隣接空地への民間開発が連携し一体として整備される

「復興公営住宅一体型の町外コミュニティ」

2 二本松市安達ヶ原地区

小規模仮設である建設学院跡仮設住宅を段階的に建て替えて、地域とも連携した居住拠点を形成する

「地域共生型町外コミュニティ」

3 福島市南沢又地区

一定規模をもつ未利用地に整備する

「自律拠点型町外コミュニティ」



■6巻のドキュメンタリー映像の編集と公開

- プロジェクトのプロセスを、ドキュメンタリーカメラマン・映像作家による映像記録として、時期区分ごとに6本の作品として独自に編集
- シンポジウムで公開、YouTubeへのアップ(アクセス数は現在1万以上)、DVDでの配布



浪江シリーズ 番外編1 浪江町 2012年初夏の風景 QuickTime H 264

作者: Akifusa Chiba

3年前・視聴回数 6,188回

福島県浪江町。今年の初夏の風景です。地元のNPOの方と浪江町役場の方のご案内で、たった一日ですが回れるだけ回って撮影してき...

HD

You Tubeの画面



浪江シリーズ No.1 なみえ復興塾 Vol.1 2012年

作者: Akifusa Chiba

3年前・視聴回数 1,311回

福島県浪江町。復興へむけての取り組みを続ける住民グループ「なみえ復興塾」。協働するのは、住民、浪江町行政、専門家など。早稲田...

HD

■他の地域へのネットワーク・コミュニティ支援システム活用(一例)

ネットワーク・コミュニティの概念、及び、包括的生活サポートシステムが、支え合い型の高齢者コミュニティに適応され、それぞれの地域で独自の発展をする可能性

- 今後、地域福祉、すなわちコミュニティで支える福祉が一段と重要になり、移動支援、見守り、外出促進、情報交流など多面的な生活サポートを包括するこのシステムは、それぞれの地域で、多様に展開して効用をもたらすと考えられる。

計画案：B案

高齢者や若者が集まって暮らせる住まいを用意し、移住を促進する

短期居住用住宅

山形県山形市・山形県山形市
町外の元気高齢者や若い世代を対象に、華やかなライフスタイルや暮らしの魅力をアピールすることで、二地域居住や移住を促進する。

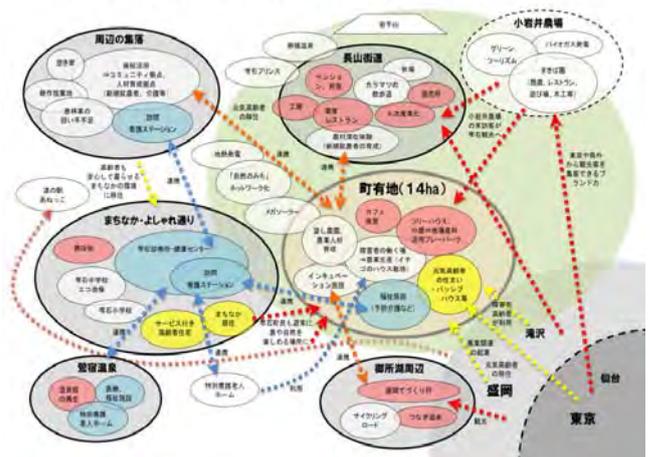
サービス付き高齢者住宅

山形県山形市
短期居住用住宅や高齢者住宅に住む方が集まって交流のできる食堂や共用リビングスペース。敷地内の畑で採れた野菜を用いた居住者による食事会などを開催したり、時には来訪客も参加できるオープンなイベントにも活用する。

集まって暮らす共同スペース(食堂、イベントなど)

山形県山形市
短期居住用住宅や高齢者住宅に住む方が集まって交流のできる食堂や共用リビングスペース。敷地内の畑で採れた野菜を用いた居住者による食事会などを開催したり、時には来訪客も参加できるオープンなイベントにも活用する。

S町全体における町有地(14ha)の位置づけ



岩手県S町で計画中のプロジェクト(CCRCの先進事例として)